

1. 単元名 「憲法とわたしたちの暮らし」

2. 単元づくりのポイント

(1) 教材化

本単元で扱う日本国憲法には、基本的人権の尊重や国民主権、平和主義の原則の3つが定められていること、天皇は、日本国の象徴として位置づけられていること、生命、自由及び幸福の追求に対する国民の権利は永久の権利として国民に保障されたものであり、それを保持するためには国民の不断の努力を必要とするものであること、参政権は、国民主権の表れであり、民主政治にとって極めて重要であること、また、国民は、権利を行使する一方で勤労や納税の義務などを果たす必要があることなどを基に、日本国憲法の特色について理解するようにします。

また、我が国の民主政治は国民主権の考え方と深くかかわっていること、そのことは私たちの日常生活とも関連があることなどを基に、日本国憲法と国民生活との関連について理解するようにします。

そして我が国の政治には、国会に立法、内閣に行政、裁判所に司法という三権があり、それらは、相互に関連し合ってそれぞれの役割を果たしていることなどを基に我が国の政治の仕組みについて理解するようにします。

本単元では、国民と国の政治の関わり方が理解できるように、国会などの議会政治や選挙の意味、国会、内閣、裁判所の三権相互の関連、裁判員制度や納税の役割などについて扱います。「天皇の地位」については天皇の国事行為など児童に理解しやすい事項を取り上げ、天皇についての理解と敬愛の念を深めるようにします。また「国民の権利及び義務」について参政権、納税の義務などを取り上げます。「国会」について国民との関わりを指導する際には、国民の祝日に関心をもち、我が国の社会や文化における意義を考えるように配慮します。

(2) 学習過程

本単元では、日本国憲法の基本的な考え方に着目して、我が国の民主政治について、日本国憲法の基本的な考え方はどのようなものか、国会、内閣、裁判所はそれぞれどのような役割を果たしているか、国会、内閣、裁判所はどのように関連しているかなどの学習問題を設けて調べたり、日本国憲法と国民生活、国会、内閣、裁判所と国民をそれぞれ関連付けて考えたりして、調べたことや考えたことを表現するようにします。

また、本単元では、調べて得た情報に基づいて、政治への関わり方について、例えば、選挙は国民の代表者を選ぶ大切な仕組みであること、行政に必要な予算を国民が納める税金が支えていること、国民が裁判に参加する仕組みとして裁判員制度があることなどを踏まえて、様々な立場から多角的に考え、義務や責任などと関連付けて自分の考えをまとめることができるよう指導することが大切です。

(3) 学習活動

本単元では、我が国の政治の働きについて公共施設などの見学やそこで働く人への聞き取り調査をしたりして、図表などにまとめるようにします。ここでは、見学・調査して適切に情報を集める技能、調べたことを図表などに適切に整理する技能などを身に付けるようにすることが大切です。

3. 単元目標

我が国の政治の働きについて、日本国憲法の基本的な考え方に着目し、見学・調査したり各種の資料で調べたりしてまとめ、我が国の民主政治を捉え、日本国憲法が国民生活に果たす役割や、国会、内閣、裁判所と国民との関わりを考え、表現することを通して、日本国憲法は、国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていることや、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていること、立法、行政、司法の三権がそれぞれの役割を果たしていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究解決しようとしたり、学習したことを基に、国民としての政治への関わり方について多角的に考えようとしたりする態度を養う。

4. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①日本国憲法の基本的な考え方や三権の役割について、見学・調査したり各種の資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、我が国の民主政治を理解している。 ②調べたことを図表や文などにまとめ、日本国憲法は国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていることや、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを理解するとともに、立法、行政、司法の三権がそれぞれの役割を果たしていることを理解している。	①日本国憲法の基本的な考え方や三権の役割に着目して、問いを見出し、我が国の民主政治について考え表現している。 ②日本国憲法と国民生活、国会、内閣、裁判所と国民をそれぞれ関連付けて考えたり、学習したことを基に、国民としての政治への関わり方について多角的に考えたりして表現している。	①我が国の政治の働きについて、予想や学習計画を立て、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②学習したことを基に、国民としての政治への関わり方について多角的に考えようとしている。

5. 指導計画（9時間扱い）

単元の構想と予想される児童の反応	支援(○)と具体的評価規準
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>①自分たちの生活をふり返ったり、他国と日本を比べたりしながら日本国憲法と自分たちの暮らしとのかかわりについて関心を持ち、問いを見出し、予想や学習計画を立て、主体的に学習問題を追究し、解決しようとするようにする。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>学校に行けず働く子ども（カンボジア）</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>自衛隊の災害復旧</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>紛争が起こっている地域</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・日本は子どもが学校に行くのが当たり前だけど、違う国もあるね。 ・日本は災害時に自衛隊員や警察、消防の人が救助に来てくれるんだね。 ・日本では戦争は起こっていないけれど、世界では戦争している地域があるんだね。 <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>日本国憲法の三原則（教科書）</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>日本国憲法前文（教科書）</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・自衛隊が救助に来るのも、子どもが学校に通えるのも、戦争がないのも日本国憲法で示されているんだね。 ・わたしたちと日本国憲法は、どのような関係があるのかな。 	<p>○6年生になって初めての社会科学学習なので、5年生までの学習を振り返りながら政治学習への関心がもてるように、つながりのわかる資料を用意する。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>（単元を見通す学習問題） 私たちの暮らしと日本国憲法は、どのようにかかわっているのだろうか</p> </div>	<p>（思－①） 日本国憲法の基本的な考え方や三権の役割に着目して、問いを見出している。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>学習計画を立てよう</p> </div> <p>〈調べる事〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・憲法の三つの原則について調べよう。 ・法律は、誰が、どのようにしてつくるのか調べたいな <p>〈調べ方〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書や資料集などで調べよう ・インターネットで情報を集めよう <p>日本国憲法はどのようなものなのだろうか。まずは「基本的人権の尊重」について調べよう</p>	<p>（態－①） 我が国の政治の働きについて、学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっている。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>②基本的人権の尊重の考えのもと、だれもが人間らしく生きる権利をもっていることを分かるようにする。</p> </div>	

日本国憲法第 11 条 (教科書)

- ・すべての人が生まれながらにもっている権利って何だろう。

基本的人権とは、どのような権利なのだろうか

日本国憲法に定められている国民の権利と義務の図(教科書)

- ・住む所や職業を選べる権利や政治に参加する権利がある。
- ・言論や出版の自由も認められているんだね。
- ・権利だけでなく、納税・勤労・教育を受けさせる義務もあるんだ。

ハンセン病と人権侵害 (教科書)

- ・差別や偏見に苦しめられている人たちがいるんだね。

基本的人権とはだれもが、生命や身体が大切にされ、人間らしく生きる権利のことなんだね。まだ課題もあるから、みんなが努力していくことが大切だね。

③各地での平和への取り組みが行われている理由から日本国憲法で定められている平和主義について分かるようにする。

非核宣言自治体一覧

- ・たくさんの自治体が非核宣言をしているんだね。

どうしてほとんどの自治体が非核宣言を行っているのだろうか

- ・戦争をもうしないって、憲法の前文にあるからじゃない。
- ・核兵器を否定しているから、きっと核兵器でつらい思いをした人がいるんじゃないかな。

日本国憲法第 9 条 各地の平和への取り組み(広島・長崎・沖縄)

- ・日本は外国との間に争いが起こっても、戦争で解決しないんだ。
- ・武力を永久に放棄したんだ。
- ・原水爆禁止世界大会や被爆体験を語りつぐことで、核兵器のない世界を目指す運動が行われているんだね。

日本は昔戦争をして、多くの人を傷ついていたんだ。だから非核宣言をする自治体がたくさんあったり、世代を超えて平和を願う活動が行われたりしているんだ。そして二度と戦争をしないよう、憲法でもしっかりと定めているんだね。

(知一①)

必要な情報を読み取り、基本的人権を理解している。

○歴史学習で詳しく扱う内容もあるので、ここでは多くの人が傷つき、被害を受けたことがわかるようにする。

(知一①)

必要な情報を読み取り、平和主義を理解している。

④国民主権の考えのもと、国民が選挙権をもち、国民の意思で政治が動くことが分かるようにする。

選挙権の歴史

日本国憲法前文

選挙の様子の写真

- ・今と昔では選挙権がある人の条件が違うんだね。
- ・今は18歳以上の男女みんなに選挙権があるんだね。
- ・選挙に行くことと国民主権はどう関係しているのかな。

国民主権とはどのようなことなのだろうか

- ・国民が、中心でことだよ。
- ・選挙で選ばれた人たちが、議論して、政治を進めるんだ。
- ・国民は選挙で投票することで、政治に参加しているんだね。

投票率の推移グラフ

- ・多くの国民の意志が政治に反映されるためには、投票することが大切なんだね。

憲法で定められた天皇の主な国事行為（教科書）

- ・国の象徴だから、大事な仕事をしているんだ。
- ・天皇が衆議院の解散や国会の召集を行っているんだ。
- ・政治についての権限は一切天皇にはないんだね。

国民主権とは、国民の意思で国の政治が動いていくことなんだね。国民は選挙で投票することで政治に参加しているんだ。また、天皇は象徴であり、天皇の役割は憲法で決められているんだ。

投票で選ばれた人たちはどこで何をするんだろう。

⑤⑥国の政治が、国会・内閣・裁判所の三つの機関で役割を分担して行われていることが分かるようにする。

国会・内閣・裁判所は、どのようなはたらきをしているのだろうか

国会のはたらき（教科書）

内閣のはたらき（教科書）

裁判所のはたらき（教科書）

裁判員制度（教科書）

三権分立仕組み・国民と政治のつながりの図（教科書）

- ・国会は衆議院と参議院で構成されていて法律や予算を決める。

○身近なニュースなどでも天皇にかかわることが取り上げられていることに気付かせるために、新聞記事の切り抜きなどを掲示しておいたり、事前にニュースを調べさせたりする。

（知一①）

必要な情報を読み取り、国民主権を理解している。

○国会や裁判所の見学に行ったり、映像資料を用意したりして、具体的なイメージをもちやすいようにする。

○国民の祝日については、国会で決まった法律で定められていること、国民の祝日は、それぞれ意義があり、大切にされていることにも触れる

- ・衆議院と参議院では、人数などに違いもあるね。
- ・内閣は予算に基づいて国民の暮らしを支える仕事をするんだ。
- ・裁判所は法律に基づいて争いや犯罪を解決する仕事をするんだ。
- ・国会・内閣・裁判所は、それぞれ、立法・行政・司法という役割を分担し、お互いの役割が実行できているか調べているんだ。

国の政治は、国会・内閣・裁判所の3つの機関が立法・司法・行政の役割を担って仕事をしているんだね。国会で決まった法律の中に、国民は、国会とは選挙を通じて、内閣には世論で、裁判所には国民審査でかかわっているんだね。また、三権も相互にかかわり合いながら国の政治は動いているんだね。

⑦租税について調べ、租税の役割について分かるようにする。

国の税収

- ・税金を納めるのは、国民の義務だよ。
- ・予算を決めるのは、国会だったよ。
- ・どんなことに税金は使われているのかな。

国民が義務で収めた税金は、どのように使われているのだろうか

税金が集められてから使われるまでの図（教科書）

- ・公共施設や道路などを整備するために使われているんだね。
- ・税金で学校を建てたり修理したりしているんだね。
- ・消防車や救急車があるのも税金なんだね。
- ・お年寄りや障害のある人のために使われているんだね。

国民が納める税金は私たちの生活を支えるためにも、国の政治を進める上でもとても大切なものなんだね。

⑧⑨調べたことを図表や文などにまとめ、我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを理解し、国民としての政治への関わり方について多角的に考えるようにする。

（単元を振り返る学習問題）

私たちの暮らしと日本国憲法は、どのようにかかわっているのだろうか

（知一①）

三権の役割について、見学・調査したり各種の資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、我が国の民主政治を理解している。

○租税教室を活用し、「税金が無くなった世の中」や「税金がどのように使われているのか」出前授業をしてもらうとより税金の役割と生活との関わりについて理解させやすい。

（知一①）

必要な情報を読み取り租税の役割について理解している。

（知一②）

調べたことを図表や文などにまとめ、日本国憲法は国家や国民生活の基本を定

調べて分かったことを表や図にまとめよう

これまでの学習内容の掲示物・ノート

日本国憲法は、**国民主権、基本的人権の尊重、平和主義の3つの柱**があり国の基本を定めている。国民は、憲法によって権利もあるが義務もある。日本国憲法の考え方をもとに政治が行われているんだね。憲法によって私たちの生活は支えられているんだ。日本国憲法の3つの柱を実現し、国民中心の政治を行うために、**国会・内閣・裁判所**がそれぞれの役割を果たしているんだね。

政治への関わり方について考えよう

国が行う事業の費用は、税金によってまかなわれている。よりよい国にしていくためには、税金をしっかりと納めることが大切だね。また、6年後には選挙権を得るから、わたしたちの生活と政治のつながりについて、これからも関心を持ち続けたいな。

めていることや、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを理解している。

(思-②)

国民としての政治への関わり方について多角的に考え表現している。

(態-②)

学習したことを基に、国民としての政治への関わり方について多角的に考えようとしている。

1. 単元名 「わたしたちの暮らしを支える政治」

2. 単元づくりのポイント

(1) 教材化

本単元では、国や地方公共団体の政治は国民生活と密接な関係を持っていること、それらの政治は国民主権の考え方を基本として、国民の願いを実現し国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることなどを基に、国や地方公共団体の政治の働きについて理解するようにします。実際の指導に当たっては、学習が抽象的になったり、細かい用語や仕組み、数値などを覚えるだけの指導になったりすることのないよう、国や地方公共団体の取組についての具体的な事例を取り上げて調べるようにすることが大切です。その際には、国の政治との関連を踏まえて指導することも大切です。また、本単元については、社会保障、自然災害からの復旧や復興、地域の開発や活性化などの取り組みの中から選択して取り上げるようにします。

(2) 学習過程

本単元では、政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどに着目して、国や地方公共団体の政治の取り組みについて、例えば、どのような内容の政策か、どのような過程を経て実施されたか、どのような法令に基づいているか、予算はどのように決められているかなどの学習問題を設けて調べたり、それらの取り組みと国民生活を関連付けて考えたりして、調べたことや考えたことを表現するようにします。

実際の指導に当たっては、我が国の政治の学習が、抽象的になったり、細かい用語や仕組み、数値だけを覚えるだけの指導になったりすることのないよう、国や地方公共団体の取組についての具体的な事例を取り上げて調べるようにすることが大切です。

(3) 学習活動

本単元では、我が国の政治の働きについて公共施設などの見学やそこで働く人への聞き取り調査をしたり、国や県、市などが作成した広報誌などの各種資料で調べたりして、図表などにまとめるようにします。ここでは、見学・調査して適切に情報を集める技能、調べたことを図表などに適切に整理する技能などを身に付けるようにすることが大切です。

3. 単元目標

我が国の政治の働きについて、政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどに着目し、見学・調査したり各種の資料で調べたりしてまとめ、国や地方公共団体の政治の取り組みを捉え、国民生活における政治の働きを考え、表現することを通して、国や地方公共団体の政治は、国民主権の考えの下、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解できるようにする。主体的に学習問題を追究解決しようとしたり、学習したことを基に国民としての政治への関わり方について多角的に考えようとしたりする態度を養う。

4. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 政策の内容や計画までの過程、法令や予算との関わりなどについて、見学・調査したり各種の資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、国や地方公共団体の政治の取り組みを理解している。 ② 調べたことを図表や文などにまとめ、国や地方公共団体の政治は、国民主権の考えの下、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解している。	① 政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどに着目して、問いを見出し、国や地方公共団体の政治の取り組みについて考え、表現している。 ② 国や地方公共団体の政治の取り組みと国民生活を関連付けて考え、表現している。	① 我が国の政治の働きについて、予想や学習計画を立て、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ② 学習したことを基に、国民としての政治への関わり方について考えようとしている。

5. 指導計画（8時間扱い）

単元の構想と予想される児童の反応	支援(○)と具体的評価規準
<p data-bbox="167 271 1007 443">日本が抱えている課題に対して、問いを見出し、我が国の政治の働きについて、予想や学習計画を立て、主体的に学習問題を追究し、解決しようとするようにする。</p> <div data-bbox="188 461 432 528" style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">人口ピラミッド</div> <div data-bbox="456 461 700 528" style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">少子高齢化問題</div> <ul data-bbox="204 546 687 622" style="list-style-type: none"> ・日本は少子高齢化社会なんだよね。 ・これから先はどうなっていくのかな。 <div data-bbox="188 640 576 707" style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">川崎市の年齢別人口の割合</div> <ul data-bbox="204 734 986 766" style="list-style-type: none"> ・昔に比べて、子どもの数が減っている。少子化と言うんだね <div data-bbox="167 779 975 976" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="236 810 544 842">(単元を見通す学習問題)</p> <p data-bbox="220 860 954 940">少子化問題に対して、川崎市では、どんな取り組みをしているのだろうか</p> </div> <div data-bbox="188 999 485 1055" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">学習計画を立てよう</div> <p data-bbox="181 1070 320 1102">〈調べる事〉</p> <ul data-bbox="172 1120 1007 1196" style="list-style-type: none"> ・子育て支援をしている人々を支えるための取組を調べよう ・その取組には、どんな人がどのような協力をしているか調べよう <p data-bbox="181 1214 293 1245">〈調べ方〉</p> <ul data-bbox="172 1263 1007 1388" style="list-style-type: none"> ・インターネットで調べる ・実際に区役所や施設を見学したり、パンフレットを集めたりして調べよう <p data-bbox="167 1406 1018 1532">川崎市でも暮らしをよりよくするための取り組みを何かしているはずだよ。調べてみよう。まずは、子育て支援センターについて調べよう</p> <div data-bbox="167 1608 1007 1771" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="188 1626 986 1751">②子育て支援センターが作られたことについて、各種の資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、人々の願いをもとに市政が行われていることを分かるようにする。</p> </div> <div data-bbox="188 1805 596 1872" style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">子育て支援センター数の推移</div> <ul data-bbox="204 1890 1007 1921" style="list-style-type: none"> ・年々子育て支援センターが増えている。子どもが増えたのかな。 <div data-bbox="188 1939 596 2007" style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">就学時前の人口グラフ</div> <ul data-bbox="204 2024 911 2056" style="list-style-type: none"> ・そんなに大きく子どもの数が増えたりはしていないね。 	<p data-bbox="1038 259 1433 721">○この単元では、児童の関心や地域の実態に応じて、「社会保障、自然災害からの復旧や復興、地域の開発や活性化などの取組」の中から選択して取り上げることになっている。子育て支援センターは社会保障にあたるが、地域の実情に応じて適切な教材を扱っていく。</p> <p data-bbox="1038 784 1433 958">○前単元を振り返り、政治と自分たちの暮らしとの関わりについて関心をもてるようにする。</p> <p data-bbox="1050 1021 1166 1052">(思—①)</p> <p data-bbox="1066 1070 1422 1151">政策の内容などに着目して、問いを見出している。</p> <p data-bbox="1050 1258 1166 1290">(態—①)</p> <p data-bbox="1066 1308 1433 1482">川崎市の政治の働きについて、学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっている。</p> <p data-bbox="1038 1836 1433 2056">○子どもの数が大きく変化しているわけではないが、川崎市の子育て支援センターが急増していることに着目するようにさせる。</p>

なぜ川崎市では子どもの数は変わっていないのに、子育て支援センターが増えているのだろうか

- ・子育てで困っている人が増えているんじゃないかな。
- ・小さい子がいる家庭が川崎に引っ越してきているのかな。

市民の願い

子育て支援センターの説明

川崎市では、子育てをする人の願いがあったから、そして人々の生活の安定と向上のために子育て支援センターをたくさんつくったんだね。

③子育て支援センターとは、どのような場所なのか、分かるようにする。

子育て支援センターとは、どのようなところなのだろうか

子育て支援センターのパンフレット

副読本かわさき

- ・スタッフの人に子育ての不安や悩みの相談ができるんだ。
- ・小さい子が安心して遊べる場所や遊具がたくさんあるね。
- ・お母さん同士の情報交換ができるんだって。
- ・ここにくれば、同じ年頃の遊び相手が見つかるね。

子育て支援センターは、おもに0～3歳くらいまで、子どもと保護者が自由に使える場所なのだね。市内に50以上もあるよ。どのようにしてそのような施設ができたのだろうかね。

④子育て支援センターは市民の願いや社会の子育て支援に対する動きの高まりがあり、市や国の代表者が話し合ってきた過程について考え、表現するようにする。

子育て支援センターはどのようにしてできたのだろうか

子育て支援センターができるまでの流れ(副読本かわさき)

- ・選挙で選ばれた代表者が会議で決めているんだね。
- ・川崎市だけでなく、国会でも子育てのことを話し合ったんだね。
- ・予算は税金から出ている、国からも予算が出ているんだね。

市民の願いや、子育てを支援しようという世の中の動きが高まり、川崎市や国で代表者の人たちが話し合っただけで決まったんだね。

(知一①)

子育て支援センターが作られたことについて、各種の資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、人々の願いをもとに市政が行われていることを理解している。

○地域の実態に応じて、見学・調査が可能であれば、見学することも考えられるが、区役所等からパンフレットを入手しても良い

(知一①)

子育て支援センターについて、見学・調査したり各種の資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、子育て支援センターの利用方法を理解している。

(思一②)

子育て支援センターについて、国と地方公共団体の取組と人々の願いを関連付け、子育て支援センターができた過程について考え、表現している。

⑤⑥子育て支援センターと予算のかかわりについて調べ、税金が政治において果たす役割について分かるようにする。

子育て支援センターができるまでの流れ（副読本かわさき）

なぜ子育て支援センターをつくるまでに、アンケートをとったり、議会で話し合ったりしているのだろうか

- ・みんなから集めた税金を使うから話し合っているんじゃない。
- ・子育てしていない人もいるから、本当に必要なのか調べないといけないと思う。

税のはたらき（教科書）

市議会のはたらき（教科書）

川崎市の予算のグラフ（副読本かわさき）

子育て支援センターを作るためのお金は税金から出される。みんなの暮らしを支えるための大切なお金だから、多くの人の意見を聞いたり、市民の代表者が集まる会議で慎重に話し合ったりして有効に使われるようにしているんだね。

⑦⑧調べたことを図表にまとめ、国や地方公共団体の政治は、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解し、国民としての政治への関わり方について多角的に考えるようにする。

（単元を見通す学習問題）

少子化問題に対して、川崎市では、どんな取り組みをしているのだろうか

調べて分かったことを表や図にまとめよう

これまでの学習内容の掲示物・ノート

国や地方公共団体では、少子高齢化などの問題に対して、代表者が議会で話し合いながら、私たちの願いを政治に反映するような取り組みを行っている。政治を行うときに使われる税金はみんなから集めたお金なので、慎重に使い道を考えていくべきだ。

政治への関わり方について考えよう

社会の課題の解決に対して、よりよい社会にするためにも、私たちが身の回りの課題や問題に目を向けたり、政治に関心をもったりしていくことが大切なんだね。

○子育て支援センターは川崎市だけの取組ではなく、国がかかわっていることに気付けるように資料を工夫するようにする。

（知一①）

政策の内容と予算との関わりなどについて、各種の資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、国や地方公共団体の政治の取り組みを理解している。

（知一②）

調べたことを図表や文などにまとめ、国や地方公共団体の政治は、国民主権の考えの下、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解している。

（態一②）

学習したことを基に、国民としての政治への関わり方について考えようとしている。

1. 単元名 「国づくりへの歩み」

2. 単元づくりのポイント

(1) 教材化

本単元は、狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷（大和政権）による統一の様子を手掛かりに、むらからくにへと変化したことを理解するようにします。その際、神話・伝承を手掛かりに、国の形成に関する考え方に興味をもたせるようにします。なお、神話・伝承については、古事記、日本書紀、風土記などの中から適切なものを取り上げるようにします

(2) 学習過程

本単元では、この頃の世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産に着目して、例えば、人々はどうのような生活をしていたのか、世の中の様子はどのように変わったか、どのように力を伸ばし国を治めていたかなどの問いを設けて、狩猟・採集の生活や農耕が始まったころの生活の様子、古墳の出現と広がり、大和朝廷（大和政権）の支配の広がりについて調べ、これらの事象を比較したり関連付けたりして、世の中の様子の変化を考え、文章で記述したり説明したりすることが考えられます。

(3) 学習活動

本単元では、例えば、貝塚や集落跡などの遺跡、土器などの遺物について、地域にある博物館や資料館などを利用してしらべたり、身近な地域に残されている古墳を観察・見学したり、当時の様子や人物の働きなどを資料で調べたりして、年表などにまとめるようにします。

3. 単元目標

我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目し、遺跡や文化財、地図や年表などで調べるなどしてまとめ、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考え、表現することを通して、狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷（大和政権）による統一の様子を手掛かりに、むらからくにへと変化したことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究解決しようとする態度を養う。

4. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷（大和政権）による統一の様子を理解している。 ② 調べたことを年表や文などにまとめ、むらからくにへと変化したことを理解している。	① 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見出し、狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷（大和政権）による統一の様子について考え表現している。 ② 狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷（大和政権）による統一の様子を比較したり関連づけたりして、この頃の世の中の様子を考え、適切に表現している。	① 狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷（大和政権）による統一の様子について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

評価規準の○は「記録に残す評価」

他は「指導に生かす評価」

5. 単元の構想と評価（8時間扱い）

単元の構想と予想される児童の反応	備考（○）と具体的評価規準
<p>① 歴史を学ぶ意味について考え、歴史学習に対して見通しをもてるようにする。</p> <p>政治学習での既習事項</p> <ul style="list-style-type: none">・今の日本の仕組みや私たちの生活が、どのようにして出来上がってきたのかを知るためではないか。・日本国憲法の考え方がどのような歴史を経て生まれたかを知るためではないか。 <p>歴史を学ぶ意味を一人一人がしっかりと考えながら学習していきたい。現代の日本の仕組みや考え方がどのように形作られてきたのかを知ること、その一つと言えそうだ。</p>	<p>○ここでは、歴史学習を大きな一つの単元として捉え、これからの70時間を見通すようなオリエンテーションの時間としたい。</p> <p>○政治の学習で学んだことをもとに、何のために歴史を学習していくのかを、現代の日本の仕組みや憲法の精神などを拠り所にして考えられるよう支援する。</p>
<p>②③縄文時代の人々のくらしの様子を資料から読み取り、ここからどのようにくらしが変化していったのかについて問いを見出し、学習計画を立て、主体的に学習問題を追究し、解決しようとするようにする。</p>	
<p>縄文時代の人々はどのようなくらしをしていたのだろうか</p> <p>狩りや漁をしていた頃の様子【想像図】(教科書)</p> <p>副読本かわさき (P.111)</p> <ul style="list-style-type: none">・動物や魚をとったり木の実などを集めたりしているよ。土器や石器等を使い、同じような家に住んでいる。・川崎からも貝塚のあとが見つかっているんだ。	<p>○食生活や衣服、住居など視点を整理して現代のくらしと比較し、相違点を見つけることができるようにする。</p> <p>(思-①)</p> <p>縄文時代の人々のくらしを調べることを通して大昔の人々の様子について、問いを見出している。</p>
<p>(単元を見通す学習問題) 大昔の人々のくらしはどのように変わっていったのだろうか</p>	
<p>学習計画を立てよう</p> <p>〈調べる事〉</p> <ul style="list-style-type: none">・米づくりが始まったころの人々の暮らしについて調べよう。 <p>〈調べ方〉</p> <ul style="list-style-type: none">・教科書や資料集、図書室の本で調べよう。・インターネットで情報を集めよう。 <p>縄文時代の人々は狩りや採集を中心としたくらしをしていた。貝塚には昔の人々の生活の跡がたくさん残っている。今</p>	<p>(態-①)</p> <p>大昔の人々の様子について、学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっている。</p>

の日本とはぜんぜん違う暮らしぶりだ。このあと、どのように暮らしが変わっていったのか調べていきたい。

③米づくりが広まったところの人々のくらしの様子を資料から読み取り、その特徴が分かるようにする。

縄文時代の人々のくらしはどのように変わっていくのだろうか

米づくりが広まったところの様子【想像図】(教科書)

・米作りが伝わって村の様子は随分変わってきたよ。
・前はなかった施設があるけど全部米作りのための物なのかな。
大陸から米づくりの技術が伝わったことで土器などの道具の種類も変わり、人々は定住して、共同で農作業を行って暮らすようになった。食生活が安定したこのような時代を弥生時代という。

④米づくりの広まりと、貧富の差や争いの発生との関係について分かるようにする

吉野ケ里遺跡(教科書)

首のない人骨(教科書)

米作りが広まったのに、なぜ人々の間に争いが起こるようになったのだろうか

・米づくりが始まって生活が安定したはずなのに、なぜだろう。
・保存のきく米が争いの原因になったんだね。それらを守るために柵や堀などがあったんだ。
・指導者が生まれたことも米づくりの影響と言えそうだ。
米作りが広まったことで、収穫した米や土地、水などをめぐむら同士の争いが起きるようになった。その中で指導者が生まれ、人々をまとめていくことで身分の差や貧富の差ができていき、次々と他のむらを従わせていったことで、くにへと発展していった。

⑤魏志倭人伝の記述や金印から、卑弥呼が大陸に使者を送ったり、占いをしたりして世の中を治めていったことが分かるようにする。

卑弥呼はどのようにしてくにを治めたのだろうか

邪馬台国の卑弥呼(教科書)

金印(教科書)

・大きな力をもった中国の力を利用して、くにを治めようとして

○前時に調べた視点を思い出させ、比べながら考えることができるようにする。

○特に食生活に注目させ、米作りによる生活の変化に着目できるようにする。

(知-①)

米づくりの広まりによって、人々のくらしに変化が起こったことを理解している。

○米づくりで食生活が安定した事実と、首のない人骨の写真とのずれから問いをもたせるようにする。

○前時に見つけたむらの特徴を思い出させ、争いの発生と関連づけながら考えられるよう支援する。

(知-①)

米づくりによる影響と、くにの形成との関連について理解している

○当時の日本の様子を読み取ることができるよう魏志倭人伝の日本についての記述を抜粋して提示する。

○金印を授かったことの影響から大陸との関わりについて考えることができるようにする。

いたんだね。

- ・この頃から、大陸とつながりがあったことも分かるよ。

邪馬台国は多くのむらを従えたくにであり、女王である卑弥呼はうらないなどでくにを治めていた。また、中国に使者を送り、「親魏倭王」の称号を得るなどをして力を強めていった。

⑥大仙古墳の作られた理由や背景について考えることを通して、大王を中心とした大和朝廷が大きな力をもっていたことについて分かるようにする。

大仙古墳の写真（教科書）

学区の地図

誰が何のためにこんなに大きな古墳を作ったのだろうか

- ・これだけの人や物を集められる大王は、きっとすごいリーダーだったと思う。

- ・古墳を作ることで、自分の権力を示す効果があったんだ。

古墳は大王が人々に作らせた自分の墓であり、大王が強い権力をもっていたことが分かる。また、昔の人々は国ができるまでの事を神話としてまとめていて、天皇についての記述も残っている。

⑦「ワカタケル」と記されている鉄剣が近畿地方から離れた場所で発掘されたことや全国の古墳の位置から大和朝廷が全国に支配を広げていったことが分かるようにする。

前方後円墳の分布（教科書）

古墳の広がりからどのようなことが分かるのだろうか

稲荷山古墳などから発見された鉄剣（教科書）

副読本かわさき（P.111～P112）

- ・同じような形の古墳が日本中で作られたことは、大和朝廷とつながりがあったことを表しているよ。大王の力が遠くまで及んでいたことが分かるね。

- ・川崎の白山古墳からも朝廷から送られた鏡が出土しているんだね。

大和朝廷は日本の広い範囲を支配するほどの力をもっていた。大陸から伝わった技術により各地に古墳が作られ、土偶や鉄剣などが収められており、大王の強い力を表していた。

(知一①)

邪馬台国の女王卑弥呼が大陸との関わりによってくにを治めようとしたことを理解している。

○学区の地図上に古墳を重ねて示すことで、大きさを実感させる。

○大仙古墳の大きさなどについて調べることで作られた理由や背景について考えるようにする。

○日本書紀や古事記から「天皇」や「国づくり」についての伝承を取り上げ、当時の人々の考え方に興味をもてるようにする。

(知一①)

古墳が作られた理由や背景について、資料をもとに理解している。

○熊本と埼玉から同様の鉄剣が発掘されたことを取り上げ、朝廷とのつながりについて考えるようにする。

○古墳の学習を振り返り、全国に古墳が作られ、大和朝廷が支配を広げていったことが分かるようにする。

○川崎の白山古墳の例を紹介し子どもたちの身近な所にも影響が及んでいたことを実感させる。

(知一①)

資料から古墳の広がりについて調べ、大和朝廷の力が全国に及んでいたことを理解している。

⑧調べたことを年表や文などにまとめ、大昔の人々のくらしの変化を米づくりの始まりと関連づけて大和朝廷の権力の広がりにつながっていったことを考え、むらからくにへと変化したことが分かるようにする。

(単元を振り返る学習問題)

大昔の人々のくらしはどのように変わっていったのだろうか

調べて分かったことを表や図にまとめよう

これまでの学習内容の掲示物・ノート

米作りが伝わり人々は定住生活を始め、食生活が豊かになった一方で、貧富の差が発生したり争いが起きたりするようになった。指導者となった人物は力をつけていき、豪族となって地域を支配するようになった。「むら」から「くに」へと発展していく中で大王を中心とする大和朝廷が力を強め、全国に支配を広げていった。

○今までの学習を振り返り、米作りによる影響や大和朝廷の成立などを関連付けて考え、まとめることができるようにする。

(思-②)

大昔の人々のくらしの変化を米づくりの始まりと関連づけて大和朝廷の権力の広がりにつながっていったことを考え適切にまとめている。

(知-②)

調べたことを年表や文などにまとめ、むらからくにへと変化したことを理解している。

1. 単元名 「大陸に学んだ国づくり」

2. 単元づくりのポイント

(1) 教材化

本単元は、聖徳太子が政治を行った頃から聖武天皇が国を治めた頃までを学習します。ここでは、大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子を手掛かりに、天皇を中心とした政治が確立されたことを理解するようにします。

(2) 学習過程

本単元では、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、例えば、聖徳太子はどのような国づくりを進めたか、国づくりには聖武天皇のどのような願いが込められているかなどの問いを設けて大陸文化を取り入れた政治の様子、大化の改新を経て進められた天皇中心の政治の様子、大仏造営に込められた聖武天皇の願いや造営の様子について調べ、これらの事象を関連付けたり総合したりして、この頃の世の中の様子を考え、文章で記述したり説明したりするようにします。

(3) 学習活動

本単元では、例えば、遣隋使の航路や正倉院の宝物が渡来した経路を世界地図などの資料でまとめたり、大化の改新や大仏造営の様子などを資料で調べて年表などにまとめたりするようにします。

3. 単元目標

我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目し、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べてまとめ我が国の主な事象を捉え、我が国の歴史を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現することを通して、大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子を手掛かりに、天皇を中心とした政治が確立されたことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究解決しようとする態度を養う。

4. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、必要な情報を読み取り、大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子を理解している。 ②調べたことを年表や文などにまとめ、天皇を中心とした政治が確立されたことを理解している。	①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見いだし、大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営について考え表現している。 ②大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営を関連づけたり、総合したりして、この頃の世の中の様子を考え、適切に表現している。	①大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

5. 指導計画（6時間扱い）

単元の構想と予想される児童の反応	支援（○）と具体的評価規準
<p>① 聖徳太子の業績に着目し、聖徳太子の政治改革について問いを見出すようにする。</p> <p>聖徳太子の肖像画 聖徳太子の年表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法隆寺をつくったのは聖徳太子なんだね。 ・聖徳太子は、天皇を助ける地位に就いて政治改革を進める立場になったんだね。 <p>聖徳太子はどのようなことを行ったのだろうか</p> <p>十七条の憲法 冠位十二階 法隆寺の写真</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天皇中心の国づくりを進めていったんだね。 ・血筋ではなく、能力のある人が活躍できる公平な世になったんだ。 <p>小野妹子と遣隋使の航路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大陸の進んだ政治や文化を日本に取り入れたんだね。 ・その頃、大陸に渡るのは命がけの大変なことだったんだ。 ・それだけ大事な政治や文化を日本に持ち帰ったんだね。 <p>聖徳太子は政治改革に力を入れ、能力ある者が役人になる仕組みや、天皇を中心の国づくりを進めたんだね。また中国に小野妹子らを遣隋使として送り、大陸の進んだ政治や文化を取り入れたんだね。</p>	<p>○聖徳太子の肖像画を提示する。</p> <p>○聖徳太子の業績として、遣隋使の他、冠位十二階と十七条の憲法を取り上げ、資料をもとにまとめさせる。</p> <p>(思一①) 聖徳太子が行った遣隋使、冠位十二階や十七条の憲法などから、聖徳太子が行った政治改革について問いを見出している。</p>
<p>②天皇中心の国づくりがどのように進められていったのかについて予想や学習計画を立て、主体的に学習問題を追究し、解決しようとするようにする。</p> <p>聖徳太子の業績</p> <p>聖徳太子はどのような国づくりを目指したのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大陸から進んだ政治の仕組みを学んで日本でも取り入れた。 <p>聖徳太子の死後の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天皇ではなくて、蘇我氏が力を伸ばしているよ。 ・聖徳太子が目指した国づくりはどうなっていくんだろう。 <p>(単元を見通す学習問題) 天皇中心の国づくりは、どのように進められたのだろうか</p>	<p>○聖徳太子の死後、蘇我氏が力をもつようになったことを伝え、この後の日本の政治がどのようになったのか関心がもてるようにする。</p>

- ・天皇の権力をめぐって争いが起きるようになったのかな。
 - ・聖徳太子の思いを受けついで、新たな政治ができたのではないかな。
- 聖徳太子が大陸から取り入れた天皇中心の国づくりを目指したんだ。その後どのように受け継がれていったのかを知りたいな。**

③中大兄王子や中臣鎌足らははたらきにより、天皇中心の政治が実現されたことを分かるようにする。

中大兄皇子と中臣鎌足の肖像画

- ・中大兄皇子や中臣鎌足らは蘇我氏を倒して、自分たちで政治を進めたんだ。

中大兄皇子や中臣鎌足らは、どのような国づくりを目指したのだろうか

大化の改新

- ・中大兄皇子は天智天皇に、中臣鎌足は藤原の姓になったんだね。
- ・土地と人民を天皇が治める政治に改革をしたんだね。
- ・改革は中国から帰国した留学生の考えを参考にしたんだね。
- ・農民が国に治める税の仕組みが整えられたんだね。

力をもった蘇我氏を倒し、聖徳太子の思いを受け継いで、天皇中心の国づくりを実現したんだね。

④資料から人々の暮らしについて調べ、天皇中心の国づくりの様子について分かるようにする。

平城京の復元図

都に住む貴族の食事と庶民の食事の例

- ・平城京は中国の都を習ってつくったんだ。大陸の影響が大きいね。
- ・貴族という都に住む人々が現れ始めたんだ。
- ・貴族の食事は、庶民の食事に比べて豪華だね。
- ・貴族と庶民の生活の様子に差があったのかな。

都や地方の人々はどのような暮らしをしていたのだろうか

新しい政治方針と税の仕組み

木簡

- ・全国各地から都に生産物が届けられるようになったんだね。
 - ・今の時代という税金が、この頃には租・調・庸・兵役とされたんだ。
 - ・税が都に集まれば、朝廷を中心とした国づくりができるだろうね。
- 各地から生産物が都に届けられていたから、貴族はいろんなものが**

(態一①)

天皇中心の国づくりがどのように進められていったのかについて、学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっている。

○想像図に登場する人物（蘇我入鹿、中大兄皇子、中臣鎌足）の名前と関連関係を伝え、歴史の流れの概略を説明する。

○聖徳太子の死後の政治の様子や中大兄皇子や中臣鎌足による政治の改革について、教科書や資料集等を使ってまとめさせる。

(知一①)

中大兄皇子と中臣鎌足が蘇我氏をたおし、天皇中心の国を目指した聖徳太子の思いが受け継がれていったことを理解している。

(知一①)

都の貴族や地方の庶民の暮らしの様子について資料から必要な情報を集め、天皇中心の

食べられたんだ。税を納めることで、人々は様々な負担を負うようになったけれど、朝廷を中心とした国づくりができるようになったんだ。

⑤資料を活用して、国家的な大事業として東大寺の大仏が造営されたことや、全国各地に国分寺が建立されたことを調べ、分かるようにする。

東大寺の大仏の大きさ

国分寺の分布図

聖武天皇の肖像画

- ・国分寺が全国に建立されていたんだね。
- ・東大寺の大仏や全国に国分寺をつくったのには理由があるのかな。

なぜ聖武天皇は東大寺の大仏や各地に国分寺をつくったのだろうか

- ・聖徳太子が大切にした仏教をもっと広めたかったのかな。
 - ・古墳のように、自分の権力を知らしめたかったのかな。
- この頃の世の中の様子
- 聖武天皇の命令
- ・この頃、伝染病や飢饉、争いがあった世の中が大変だったんだ。
 - ・だから聖武天皇は、仏教の力で国を救おうとしたのだろうね。
 - ・全国から材料が集まっているから、天皇を中心として大規模な工事が進められているよ。

行基の肖像画

- ・人々に仏教を広めようと努力した人だから、慕われていたんだね。
- ・聖武天皇が行基にはたらきかけたから、聖武天皇は仏教を大切に国づくりを進めたんだね。

聖武天皇は行基の協力を得ながら、混乱した世の中を仏教の力で救おうとして、大仏や国分寺をつくったんだね。だから全国から材料や人が集まって、大規模な国づくりを進められたんだ。

⑥大仏完成の頃の日本と大陸の交流が、仏教や文化を通して行われていたことが分かるようにする。

鑑真の肖像画、中国に渡った記録の年表 航路と船の様子

- ・鑑真は中国のえらいお坊さんだったんだね。
- ・何度も危険な航海に失敗して、失明しながらも、日本に行くことをあきらめなかったんだね。

国づくりが進んでいることを理解している。

○大仏の大きさが実感できるよう、大仏の手や顔と同じ大きさの模造紙を用意したり、児童と一緒に作ったりしてもよい。

○東大寺の大仏が聖武天皇の命令によって作られたことを伝える。

○その当時、都では伝染病が広がり、地方では飢饉や貴族の争いが起こって、世の中が混乱していたことを伝える。

(知-①)

聖武天皇の命令によって東大寺の大仏が多くの人手と時間を費やし、造られたことを理解している。

○鑑真の肖像画を提示しながら、中国から度重なる苦労の末、日本へやってきたことを伝える。

・仏教だけではなく、様々な工芸品も日本に来ているよ。

どうして命をかけてまで大陸と交流をしていたのだろうか

- ・これまでのように中国の進んだ政治の仕組みを取り入れたかったからかな。
- ・さらに仏教の教えを日本に広めたかったんだと思う。

唐招提寺

正倉院の宝物

- ・鑑真は日本の僧に正しい仏教の教えを指導していたんだ。
- ・唐招提寺には鑑真に学びたい多くの僧が集まっていたんだね。
- ・正倉院の宝物は外国の出土品とそっくりだ。シルクロードがヨーロッパやアジアと日本をつないでいたんだね。
- ・命がけで航海をした人々のおかげで、ヨーロッパやアジアの文化が日本に取り入れられたんだ。

聖武天皇に招かれた鑑真は、唐招提寺をつくり、日本の僧に指導をして仏教の発展に大きな役割を果たしたんだ。この時代の人々は、中国から制度や文化を積極的に取り入れ、よりよい国づくりを目指したんだね。またシルクロードを通じて、ヨーロッパやアジアの様々な文化が日本にも伝わったんだね。

⑦調べたことを表や分にしてまとめ、今までの学習を関連付けて考え、天皇中心の国づくりはどのように進められたのか分かるようにする。

(単元を振り返る学習問題)

天皇中心の国づくりは、どのように進められたのだろうか

調べて分かったことを表や文章にまとめよう

ノートなど、これまでの学習を振り返ることができる物

聖徳太子は仏教を重んじ、天皇中心の国づくりを目指した。その思いを中大兄王子らが引き継ぎ、天皇中心の国づくりの仕組みを整えた。そして聖武天皇も仏教の力で国を平和にしようとした。この時代の人々は大陸から制度や文化を積極的に取り入れた。今の日本につながっていることもたくさんあったんだ。

○唐招提寺の金堂は、当時の姿を今に伝えている数少ない建物の一つで、教科書の鑑真の木造も金堂の中に納められていることを知らせる。

(知-①)

大仏完成の頃の日本と大陸の交流が、仏教や文化を通して行われていたことを理解している。

(思-②)

今までの学習を振り返り、大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営を関連づけたり、総合したりして考え、適切に表現している。

(知-②)

調べたことを文などにしてまとめ、大陸から進んだ文化を取り入れながら天皇中心の国づくりが進んだことを理解している。

1. 単元名「貴族の生活と文化」

2. 単元づくりのポイント

(1) 教材化

本単元では、京都に都が置かれたころの貴族の生活や文化について学習します。ここでは、貴族の生活や文化を手掛かりに、日本風の文化が生まれたことを理解するようにします。

(2) 学習過程

本単元では、例えば貴族はどのような生活をしてきたか、どのような作品を残したかなどの問いを設けて、この頃の貴族の服装や建物、日常の生活や行事などの様子や紫式部や清少納言の作品について調べ、これらの事象を関連付けたり総合したりして、この頃の文化の特色を考えるようにします。また、学習したことを基に長い歴史を経て築かれてきた我が国の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えるようにします。

(3) 学習活動

本単元では、貴族の暮らしの様子や紫式部や清少納言の活躍などを資料で調べ、まとめるようにします。

3. 単元目標

貴族の生活や文化の様子について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目し、遺跡や文化財、地図や年表などの資料を調べてまとめ、我が国の歴史上の主な事象を捉え、歴史の展開を考え表現することを通して、貴族の生活や文化を手掛かりに日本風の文化が生まれたことを理解するとともに主体的に学習問題を追究解決しようとしたり我が国の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えようとしたりする態度を養う。

4. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産について、遺跡や文化財、地図年表などの資料を調べ、必要な情報を集め、読み取り、貴族の生活や文化の様子を理解している。 ②調べたことを年表や文などにまとめ、日本風の文化が生まれたことを理解している。	①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見出し、貴族の生活や文化について考え表現している。 ②貴族の生活や文化を関連づけたり、総合したりして、この頃の世の中の様子を考え、適切に表現している。	①貴族の生活や文化について、予想や学習問題を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②学習したことを基に長い歴史を経て築かれてきた我が国の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えようとしている。

5. 単元の構想と評価（4時間扱い）

単元の構想と予想される児童の反応	備考（○）と具体的評価規準
<p>①貴族の暮らしから当時の生活の様子や生まれた文化の様子に着目し、問いを見出し、この頃に生まれた文化の様子について予想や学習問題を立て、主体的に学習問題を追究し、解決しようとするようにする。</p> <p>貴族の屋敷（想像図）（教科書）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すごく豪華な屋敷だね。 ・池があって船まで浮かんでるよ。 <p>貴族の食事 貴族の服装</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「寝殿造」という豪華な屋敷に住んでいたんだ。 ・女性は十二単という華やかな服を着ていたんだね。 ・舟遊びやけまり、和歌などを楽しんでいたんだね。 <p>（単元を見通す学習問題） 貴族の生活や文化にはどのような特色があるのだろうか</p> <p>学習計画を立てよう</p> <p>〈調べること〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貴族はどうして力をつけていったのかな ・貴族のくらしの中からどのような文化が生まれたのかな <p>平安京の貴族のくらしについて調べていこう</p>	<p>○貴族の生活により着目させるために、想像図を見て、衣・食・住の視点で気づいたことを整理する。</p> <p>（思—①） 貴族の生活や文化の様子に着目し、問いを見出している。</p> <p>（態—①） 貴族の生活の様子からこの頃に生まれた文化の様子について、学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっている。</p>
<p>②藤原氏について調べ、天皇をしのぐほどの力をもったことが分かるようにする。</p> <p>藤原道長と道長がよんだうた（教科書）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貴族の中でも、藤原道長が力をもつようになったんだね。 ・天皇中心の世の中だったのに、なんでこんなに力をもっているのだろう <p>藤原道長はどうやって力をつけたのだろうか</p> <p>藤原氏の家系図</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の娘が天皇の妃になっているよ。 ・さらに娘が産んだ子どもが天皇になったんだね。 ・天皇の親戚になることで大きな力をもつようになったんだね。 <p>藤原道長は、自分の娘を天皇の妃にし、天皇と親戚になることで大きな権力をもつようになったんだね。</p>	<p>○天皇家とのつながりに着目できるように、藤原氏の家系図を提示する</p> <p>（知—①） 藤原氏について調べ、天皇をしのぐほどの力をもったことを理解している。</p>

③仮名文字を使った文学作品について調べ、日本風の文化が生まれたことが分かるようにする。

紫式部

清少納言

- ・紫式部は「源氏物語」を、清少納言は「枕草子」を書いたんだね。どんな作品なんだろう？

貴族の暮らしから、どのような文化が生まれたのだろうか

源氏物語

源氏物語絵巻（教科書）

- ・貴族の生活の様子が分かるね。
- ・よく見ると平仮名を使って書かれているね。

枕草子

- ・これも平仮名が入っているよ。
- ・当時の生活の様子が分かっておもしろいね。

当時の貴族の生活の様子を描いた大和絵や、紫式部や清少納言などの女性作家が仮名文字を使って、優れた文学作品を生み出した。

④⑤これまでの学習を年表や文などにまとめ、関連づけたり、総合したりしてこの頃の生活や文化の特色を考え、日本風の文化が生まれたことを理解し、今日の自分たちの生活との関わりを考えるようにする。

（単元を振り返る学習問題）

貴族の生活や文化にはどのような特色があるのだろうか

調べて分かったことを表や文章にまとめよう。

ノートなど、これまでの学習を振り返ることができる物

この頃は貴族が政治の中心となり華やかな生活を送っていたね。

百人一首

- ・百人一首や囲碁は今でもやっているよ。
- ・お月見や七草がゆなど、今でも受け継がれている年中行事があるね。

かな文字を使った文学作品、囲碁や和歌、年中行事など日本風の文化が生まれたんだね。それらの文化は今でも受け継がれ、私たちに親しまれているんだね。

○仮名文字が日本人の感情をより自由に表現できるという特徴をつかませるために、漢字だけで書かれた道長の日記と比較させることも考えられる。

（知一①）

仮名文字を使った文学作品について調べ、日本風の文化が生まれたことを理解している。

（思一②）

これまでの学習を関連づけたり、総合したりして、この頃の生活や文化の特色を考え、表現している。

（知一②）

調べたことを文などにしてまとめ、日本風の文化が生まれたことを理解している。

○今日の自分たちの生活との関わりに着目させるために、百人一首など、現在に受け継がれる平安時代の文化を提示する。

（態一②）

学習したことを基に長い歴史を経て築かれた我が国の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えている。

1. 単元名 「武士の政治が始まる」

2. 単元づくりのポイント

(1) 教材化

本単元では、源頼朝が平氏打倒の兵を挙げた頃から鎌倉に幕府が置かれた頃までの様子を学習します。ここでは、源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いの三つの事象を取り上げ、鎌倉幕府が置かれた頃、武士による政治が始まったことを理解するようにします。

(2) 学習過程

本単元では、この頃の世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産に着目して、例えば、「源氏と平氏はどのような戦いをしたか」「源頼朝はどのような政治の仕組みを作ったのか」などの問いを設け、武士が台頭してきたことや源平の戦いの様子、鎌倉幕府の政治の仕組み、元との戦いについて調べ、これらの事象を関連付けたり総合したりして、文章で記述したり説明したりすることを通して、この頃の世の中の様子を考えるようにします。

(3) 学習活動

本単元では、源平の戦いが行われた場所や鎌倉幕府が置かれた場所、守護や地頭の配置、元との戦いの様子を日本地図や世界地図などの資料で調べ、年表や白地図にまとめるようにします。

2. 単元目標

我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目し、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べてまとめ我が国の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考え、表現することを通して、源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いを手掛かりに、武士による政治が始まったことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究解決しようとする態度を養う。

3. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いの様子を理解している。 ② 調べたことを地図や年表や文などにまとめ、武士による政治が始まったことを理解している。	①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見出し、源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いについて考え表現している。 ②源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いを関連付けたり総合したりして、この頃の世の中の様子を考え、適切に表現している。	①源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いについて予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

5. 単元の構想と評価（7時間扱い）

評価規準の□は「記録に残す評価」
 他は「指導に生かす評価」

単元の構想と予想される児童の反応	備考(○)と具体の評価規準
<p>①どのようにして武士が力をつけるようになったのか 問いを見出し、予想を立て、主体的に学習問題を追究し、解決しようとするようにする。</p> <p>武士の館（想像図）（教科書） 武士と貴族の1日</p> <p>武士はどのような暮らしをしていたのだろうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 貴族と比べて、ずいぶん質素な生活だね。 ・ 貴族は舟遊びややけまりをしていたけど、武士は弓や刀の訓練をしている。 ・ 農作業をしている人もいる。武士は農民だったのかな ・ 貴族の屋敷では武士は門番をしているね。 <p>門を守る武士</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 武士は、貴族に仕えている。 ・ あまり強くなさそうだね。 <p>平治の乱（教科書）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 貴族が武士に倒されているね。 ・ 貴族や朝廷と手を組んで、武士も政治に関わっていったのかもしれないよ。 <p>（単元を見通す学習問題） 武士はどのように力をつけていったのだろうか</p> <p>学習問題について予想しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 戦いの訓練をしていたから、武力で力をつけたのかな ・ 貴族や朝廷と手を組んで、政治に関わっていったのかもしれないよ。 <p>武士とは、土地を守るために武装した人たちで、貴族と違って質素な生活をしている。そのため、日ごろから武芸の訓練に励んだり、農作業をしたりしていた。これから武士がどのように力をつけていったのか調べていきたい。</p>	<p>○武士には土地を守るという目的があったことをおさえるようにする。</p> <p>○貴族の生活と大きく異なることがわかるように、武士の屋敷と貴族の屋敷の想像図を並べて提示する。</p> <p>○貴族の屋敷の図では、武士は門番をしていたことを確認できるようにする。</p> <p>（思—①） どのようにして武士が力をつけるようになったのか関心をもち、問いを見出している。</p> <p>（態—①） 武士がどのようにして力をつけたのかについて、学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっている。</p>

②平清盛が太政大臣となるまでの流れを資料で調べ、平氏が貿易や天皇の外戚となることで力をつけていったことが分かるようにする。

平氏と源氏の勢力図

- ・武士の中でも平氏と源氏が力をのばしていたんだね。
- ・はじめは平氏の勢力が強かったんだね。

平清盛と太政大臣

平清盛はどのように力をつけたのだろうか

平清盛の年表

- ・戦いに勝って、土地をもらい、位が上がった。
- ・平清盛は、武士で初めて太政大臣になった。
- ・藤原氏のように娘を天皇と結婚させているよ
- ・やっていることは貴族と同じということだね。
- ・宋（中国）と貿易をしてお金を稼いだんだね。
- ・たった26年で平氏の政権はおわってしまった。

平清盛の婚姻政策について

平清盛は戦いに勝ち、貿易で力をつけ、武士として初めて太政大臣になった。さらに天皇との縁戚関係を結んだことで政治的な力を持ち、支配を広げた。しかし、平氏の政権はわずか26年で終わった。

③源氏と平氏の戦いを調べることによって、源氏は義経の活躍と頼朝が関東の御家人と「ご恩と奉公」の関係を結び、平氏を倒すことができたことが分かるようにする。

源氏と平氏の戦い（教科書）

- ・最初は平氏が勝っていたけど、その後はずっと源氏が勝っているよ。

富士川の戦いまでの進軍進路

- ・頼朝の軍が2, 3人の状態から20万に増えているよ。
- ・鎌倉に1回戻っているね。
- ・なぜ、こんなに味方の数が増えたのだろうか。

なぜ源氏は平氏を倒すことができたのだろうか

- ・平氏に不満をもつ武士が多かったのだと思う。
- ・源氏は武士を味方につけたのかもしれないね。例え

○勢力図から勢力の拡大を読み取り平氏が力をつけてきたことがわかるようにする。

○婚姻政策に着目することで、平清盛が貴族と同じやり方で官位を得ていたことがわかるようにする。

(知一①)

平氏が力をもつまでの流れを資料で調べ、平氏が貿易や天皇の外戚となることで力をつけていったことを理解している。

○源氏が勝利するまでの流れをおさえ、義経の活躍を理解できるようにする。

○最初は負けていた源氏が勝つようになった理由について考えられるような資料を提示する。

ば、勝ったらほうびに土地を与えるとか。

吾妻鏡

ご恩と奉公を示した図

源氏と平氏が戦った場所（教科書）

- ・頼朝は武士に領地を与えているね。
 - ・武士にとって土地は何よりもありがたいものだった。
 - ・領地をくれるという約束で、武士は頼朝のために命をかけて戦ったんだね。
 - ・義経が活躍したり、関東の武士たちが味方をしたりして、壇ノ浦の戦いに源氏が勝って、平氏を倒したんだね
- 頼朝は、関東の武士と「ご恩と奉公」の関係を結び、平氏とは違った形で武士をまとめ、勝つことができた。**

④頼朝が義経に下した命令や鎌倉に幕府を開いた理由から、新しい政治の仕組みを作ったことについて分かるようにする。

これまでの政治の中心地（日本地図）

なぜ、頼朝は、鎌倉に幕府を開いたのだろうか

- ・京都から離れているね。朝廷に口を出してほしくなかったのかな。
- ・武士中心の政治がしたかったのではないかな。

鎌倉の地形図・名越の切通し

- ・山と海で囲まれている鎌倉は、敵が攻めにくいから、鎌倉に幕府を開いたんだね。

守護・地頭の配置

- ・義経を討つことを理由に全国に守護・地頭を置くことによって、鎌倉にいながら全国を支配できたんだね

鎌倉街道の地図

ご恩と奉公を示した図

- ・鎌倉に向かう道がたくさんある。
 - ・この道を通って、御家人は鎌倉に駆けつけたんだね
- 頼朝は、地形の条件が整っていて東国の武士が集まる鎌倉で幕府を開いた。また、幕府と御家人がご恩と奉公の関係で結ばれた政治の仕組みを作ることによって、武士中心の政治を行っていこうと考えたんだね。**

(知一①)

頼朝と武士（御家人）はご恩と奉公によって結ばれたことによって、頼朝に味方する武士が増え、平氏を倒したことを理解している。

○都からの距離（550 km）に着目し、頼朝が都の位置を動かした理由について考えることができるようにする。

(知一①)

頼朝が鎌倉に幕府を開き、武士中心の政治の仕組みをつくったことについて理解している。

⑤源頼朝がなくなった後も、北条氏が執権となって幕府が続き、武士による政治の仕組みを整えていったことが分かるようにする。

承久の乱

朝廷側と幕府側に味方した武士の数

- ・頼朝がいないのに、勝つことができるのかな。
- ・なぜ幕府に味方した武士が圧倒的に多いのかな。

幕府はどうやって御家人をまとめたのだろうか

御恩と奉公を訴えた北条政子（教科

承久の乱後の幕府の動き

御成敗式目

- ・北条政子の演説により、御恩と奉公の関係を思い出させたんだ。
 - ・源氏の死後も、このルールは続いていたんだね。
 - ・承久の乱の後、幕府は朝廷を監視するようにしたんだ
 - ・武士の法律も定めて、政治の仕組みを整えたんだね。
- 幕府と御家人は強い信頼関係によってつながっていた。ご恩と奉公の関係をより強固なものにした。また、朝廷を監視する仕組みを作ったり、武士の法律を定めたりして、武士による政治の仕組みを整えていったんだね。**

⑥元との戦いについて調べ、武士が異なる戦法を持つ元との戦いの様子について分かるようにする。

元からの国書

モンゴルの広がり（教科書）

- ・すごく大きな敵と戦うことになったんだね。
 - ・どんな戦い方をしたんだろう。
- 蒙古襲来絵詞（教科書）
- ・日本は一人で戦って、元は集団で戦っている。
 - ・元は「てつほう」という武器を使っている。
 - ・勝つことができたなんて信じられない。

幕府はどうやって元軍に勝つことができたのだろうか

- ・暴風雨が来て、勝つことができたと思う。
- ・幕府は戦いに備えていたと思う。

蒙古襲来絵詞（船上の戦いの場面）（教科書）

○源氏の将軍が途絶えた後も、鎌倉幕府が続いたことについて、北条政子の言葉から、その仕組みの強さをとらえられるようにする。

（知一①）

頼朝がなくなった後も、北条氏が執権となって幕府が続き、武士による政治の仕組みを整えていったことを理解している。

○実際の石塁の写真を見せることで、どのようにして石塁を作っていたのかを想像することができるようにする。

博多湾の防塁（教科書）

- ・陸の上に石垣がある。
- ・元は二度攻めてきた。その後石塁を作った。
- ・1回目に上陸されたところに防塁を築いたから元軍も上陸することはできなかったんだ。
- ・防塁は北条時宗が御家人に命じてつくらせていたんだ。
- ・幕府は全国の武士を動かして元軍と戦ったんだ。
- ・手柄を立てれば土地がもらえるというご恩と奉公の関係が、幕府と御家人の力になっていたんだね。

幕府の命令に応え、ご恩と奉公の関係で結ばれていた全国の武士が命がけで戦い元軍に勝つことができた。それだけ幕府の力は全国に及んでいたんだ。

⑦どのようにして武士中心の世の中になったのか、調べたことを関連づけて考え、まとめることができるようにする。

（単元を振り返る学習問題）

武士はどのように力をつけていったのだろうか

調べて分かったことを年表にまとめよう

これまでの学習内容の掲示物・ノート

- ・はじめは、平氏と源氏の力が強かったが、源氏が戦いに勝った。
- ・源頼朝は御家人のための政治の仕組みを作った。
- ・武士の政治は、ご恩と奉公で成り立っていた。
- ・元が攻めてきた時も、全国の武士が命がけで戦い、元軍に勝つことができた。それだけ幕府の力が、全国に広がっていたということになるね。

鎌倉時代には、武士が政治をおこなうようになった。特に力をつけていった平氏と源氏が戦い、勝った源頼朝は地形に恵まれ、都から遠い鎌倉に幕府を開いた。頼朝は、御家人とのご恩と奉公の関係を大切にしながら信頼関係を築いた。頼朝がいなくなっても、北条氏が武士による政治の仕組みを整えた。元が攻めてきたときには、全国の武士を動かして元を退けるほどの力をもつようになった。

（知一①）

蒙古襲来を防いだのは、武士による幕府の力が全国に広まったからであるということを理解している。

（思一②）

源平の戦いで武士が台頭し、鎌倉に幕府が置かれた頃、武士による政治の仕組みができ上がり、元との戦いの頃、幕府が全国的に力をもったことを関連づけてたり総合したりして考え、表現している。

（知一②）

学習問題についてわかったことを地図、年表、文などにまとめ、武士による政治が始まったことを理解している。

1. 単元名 「室町文化と力をつける人々」

2. 単元づくりのポイント

(1) 教材化

本単元では、京都や室町に幕府が置かれた頃までの学習をします。その頃の代表的な建造物や絵画を手掛かりに、今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解するようにします。

(2) 学習過程

本単元では、例えば、誰がつくった建造物か、誰が描いた絵画か、この頃の文化にはどのような特色があるか、今に受け継がれているものにどのようなものがあるのかなどの問い掛け、金閣や銀閣などの建造物や水墨画などの絵画や今に受け継がれる文化について調べ、これらの事象を関連付けたり総合したりしながら、この頃の文化の特色について考えられるようにします。

(3) 学習活動

金閣や銀閣などの建造物を比較したり、雪舟によって描かれた水墨画の複数が国宝に指定されていることやそれらを鑑賞してその独自性やよさを調べたりして、まとめるようにします。

3. 単元目標

我が国の主な歴史上の主な事象について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目し、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べまとめ、我が国の主な歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えたり、歴史を学ぶ意味を考えたりすることを通して、今日的生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解するとともに、主体的に学習問題を追究し解決しようしたり、学習したことを基に、長い歴史を経て築かれてきた我が国の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えようとしたりする態度を養う。

4. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画を理解している。 ②調べたことを文などにまとめ、今日的生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解している。	①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見出し、京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画について考え表現している。 ②京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画を関連付けたり総合したりして、この頃の文化の特色を考え、適切に表現している。	①京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして主体的に学習問題を追究し解決しようとしている。 ②学習したことを基に長い歴史を経て築かれた我が国の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えようとしている。

5. 単元の構想と評価（6時間扱い）

単元の構想と予想される児童の反応	備考（○）と具体的評価規準
<p>①既習事項や資料をもとに学習問題を立て、解決に向けての予想を立て、主体的に学習問題を追究し解決しようとするようにする。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">国風文化についての資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化の中心が貴族だったね。 ・貴族の遊びの中で生み出された文化があったよ。 ・今につながるものがたくさんあったね。 <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">金閣と銀閣の写真</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室町ってことは武士が文化の中心なのかな。 ・同じ時代のものなのになんだか雰囲気が違うな。 ・きっと何か理由があるんだよ。 <p style="border: 2px solid black; padding: 5px;">（単元を見通す学習問題） 室町時代の文化にはどのような特色があるのだろうか</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">学習問題に対して予想しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化だから国風文化と同じように今につながるものがありそうだな。 ・武士の文化だとすると豪華な感じよりもなんだか落ち着いたイメージがするな。 <p>室町時代ならではの文化がありそうだな。きっとこれまでのように今につながるものもありそう。室町時代の文化について詳しく知りたいな。</p>	<p>○国風文化と室町時代の文化を比較することで、室町時代にどのような特色があるのか関心がもてるようにする。</p> <p>（思－①） これまでの文化と比較することで室町時代の文化の特色について問いを見出している。</p> <p>○学習問題について予想をすることで、室町文化に対する探求意欲がもてるようにする。</p> <p>（態－①） 室町時代の生みだされた文化について、学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっている。</p>
<p>②世界遺産として今まで残されている金閣と銀閣について調べ、室町時代の代表的な建造物の特徴が分かるようにする。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">金閣・銀閣（教科書）</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">室町時代の年表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どちらも世界遺産に登録されているんだ。 ・比べるとやっぱり雰囲気が違うな。 ・建てられた年代が違うね。 <p style="border: 2px solid black; padding: 5px;">金閣と銀閣にはどのような特徴があるのだろうか</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">金閣と足利義満について</p>	<p>○金閣と銀閣を比べ、書院造の特徴や時代背景について考えることができるようにする。</p> <p>○違い棚や床の間など、現代の和室に関わる建具の名称を確認する。</p>

- ・足利義満が建てたんだ。
- ・明との貿易で栄えたって書いてあるから大きな権力があつたんだね。

銀閣と足利義政について

- ・足利義政が建てたんだ。
- ・東求堂の書院造はなんだか今の和室に似ているな。

現在の和室

- ・ほぼ今の和室と変わっていないよ。
- ・ここで生まれた造りが今にも伝わっているんだ。

明との貿易によって権力をもった足利義満は金閣を立てた。足利義政は東求堂のような今の和室につながるような建物を建てた。書院造や障子などは今でも建物に見られるものだったんだ。

③水墨画の特徴をつかみ、現在も人々に親しまれている水墨画が生まれたことが分かるようにする。

雪舟がえがいた『天橋立図』（教科書）

- ・墨だけで描かれているのがすごい。
- ・これまでの絵の雰囲気と違うね。

水墨画とはどのようなものなのだろうか

雪舟と水墨画

- ・雪舟という人が生み出したんだ。
- ・明から学んだ技法を生かしたんだね。

現代の水墨画や水墨画教室の写真

- ・現在でも水墨画が親しまれているんだ。
- ・確か図工の教科書にもものっていたよ。

雪舟は明で学んだ技法を活かして独自の画法を作り上げた。雪舟の絵は国宝などに指定されているだけでなく、今でも多くの人に親しまれているんだ。

④能や茶の湯、生け花など調べたことをまとめ、今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことが分かるようにする。

(知一①)

世界遺産として今まで残されている金閣と銀閣について調べ、室町時代の代表的な建造物の特徴を理解している。

○クラブ活動の実態に応じて生け花を中心に取り上げることも考えられる。

○実際に水墨画や生け花を体験することでその良さや難しさなどを実感できるようにするなど、主体的な学習となるようにする。

(知一①)

水墨画の特徴をつかみ、現在も人々に親しまれている水墨画が生まれたことを理解している。

○能や茶の湯、盆踊りなど児童が知

室町時代の文化で今にも残されているものにはどのようなものがあるのだろうか

教科書と資料集

インターネットなどの調べ学習

- ・生け花も室町時代にうまれたんだ。
 - ・能や狂言も今でも伝統芸能として伝わっているみたいだよ。
- 和室や水墨画だけでなく、室町時代のものが多く今の日本にも残されている。生け花や能、狂言など伝統的な芸能として楽しまれているんだ。**

⑤⑥学習したことから室町時代の文化について特色を文章にまとめ、現代とのつながりについて考え表現するようにする。

(単元をふり返る学習問題)

室町時代の文化にはどのような特色があるのだろうか

調べて分かったことを文章にまとめよう

これまでの学習内容の掲示物・ノート

- ・今につながっているものが多くあったな。
 - ・室町時代のうまれた文化が現在でも多くの人たちに親しまれていたね。
- 室町時代には金閣や銀閣、水墨画などの代表的なものがあり、現在にも残されている文化が生まれたんだ。**
- 水墨画や能などは今でも親しまれていたり、受け継ぐ人たちがいたりするんだね。室町文化は「和風」の原点と言えるね。**

っているものに絞って調べ学習を進めるようにし、調べた内容を交流できるようにする。

(知-①)

能や茶の湯、生け花など今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解している。

○既習の内容を振り返ることで室町時代の文化について大まかに捉えることができるようにする。

(思-②)

京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画を関連付けたり総合したりして、この頃の文化の特色を考え、適切に表現している

(知-②)

調べたことを文章にまとめ、今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解している。

(態-②)

学習したことを基に長い歴史を経て築かれた我が国の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えようとしている。